



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月6日

上場会社名 三洋工業株式会社  
 コード番号 5958 URL <http://www.sanyo-industries.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 菊地 政義  
 (氏名) 園田 崇之

TEL 03-5611-3451

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	4,814	0.7	△166	—	△126	—	△152	—
2019年3月期第1四半期	4,779	0.6	△326	—	△283	—	△292	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △157百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 △270百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△44.92	—
2019年3月期第1四半期	△85.03	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	23,625	14,381	60.9	4,240.17
2019年3月期	24,904	14,692	59.0	4,331.73

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 14,381百万円 2019年3月期 14,692百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	45.00	—	45.00	90.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当30円 記念配当15円  
 2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当30円 記念配当15円  
 詳細は、2018年6月12日発表の「創立70周年記念配当に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,500	9.9	200	—	250	—	100	—	29.48
通期	29,500	4.6	1,200	35.8	1,250	21.4	750	△8.1	221.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、(添付資料)8ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	3,520,000 株	2019年3月期	3,520,000 株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	128,158 株	2019年3月期	128,158 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	3,391,842 株	2019年3月期1Q	3,434,862 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年4月～2019年6月)におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景として、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米中貿易摩擦の長期化に伴う中国経済の減速や英国のEU離脱問題等の影響により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの関連する建築業界におきましては、政府建設投資に底堅い動きが見られるものの、新設住宅着工戸数においては貸家や分譲住宅などが低迷しており、また非居住用建築物の着工状況においても事務所や工場関連が落ち込むなど、足元の需要は総じて力強さを欠いた状況にありました。

こうした市場環境の中で当社グループは、2019年度をスタート年度とする新中期3ヵ年経営計画「SANYO VISION 73」(2019年度～2021年度)に沿って、“持続的な成長に向けたNEXT STAGEへの挑戦 ～人へつなぎ、未来へつなぐ～”をキーワードに、引き続きグループ全社の総力を結集し収益性の改革に向け邁進してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、アルミ建材の売上高が好調に推移したものの、床システム等の受注が低迷したことにより、全体の売上高は4,814百万円(前年同期比0.7%増)となりました。また、利益面におきましては売上総利益率の改善と販管費の削減効果により、営業損失は166百万円(前年同期営業損失326百万円)、経常損失においては126百万円(前年同期経常損失283百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は152百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失292百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 三洋工業

主力製品群である軽量壁天井下地につきましては、地震対策用天井が堅調に推移したものの、新設住宅着工戸数の低迷を背景に、戸建住宅用製品が伸び悩みの状況にあることなどから、軽量壁天井下地全体の売上高は微減となりました。

また、床システムにつきましては、学校体育館などスポーツ施設用の鋼製床下地材製品やスチール製OAフロアが伸長しましたが、マンションなど集合住宅用の遮音二重床製品や環境配慮型のデッキフロアなどが低調に推移したことから、床システム全体の売上高は減少となりました。

アルミ建材につきましては、エキスパンションジョイント・カバーが僅かながら減少したものの、主力製品であるアルミ笠木や、外装パネル、スパンドレルおよび手摺が好調であったことなどから、アルミ建材全体の売上高は増加となりました。

この結果、売上高は4,270百万円(前年同期比3.1%増)、セグメント損失は62百万円(前年同期セグメント損失238百万円)となりました。

② システム子会社

当社の子会社であるシステム会社（株式会社三洋工業九州システムほか）におきましては、主力の床関連商品を中心に設計指定活動を通じてその拡販に全力を傾注してまいりましたが、厳しい市況環境のもと受注量の減少を余儀なくされたことから、システム会社全体の売上高は621百万円（前年同期比9.6%減）、セグメント損失は160百万円（前年同期セグメント損失117百万円）となりました。

③ その他

その他につきましては、売上高180百万円（前年同期比7.9%増）、セグメント利益は7百万円（前年同期セグメント損失17百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、主に受取手形及び売掛金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ1,279百万円減少し、23,625百万円となりました。

負債につきましては、主に支払手形及び買掛金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ968百万円減少し、9,243百万円となりました。

純資産は、主に配当金の支払や当第1四半期連結累計期間が親会社株主に帰属する四半期純損失となったことにより、前連結会計年度末に比べ310百万円減少し、純資産合計は14,381百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2019年5月10日発表の数値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,085	3,848
受取手形及び売掛金	10,045	7,297
商品及び製品	2,037	2,687
仕掛品	128	152
原材料及び貯蔵品	660	678
その他	61	86
貸倒引当金	△60	△51
流動資産合計	15,958	14,700
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,920	2,881
機械装置及び運搬具（純額）	569	552
土地	2,876	2,876
その他（純額）	234	254
有形固定資産合計	6,601	6,564
無形固定資産		
ソフトウェア	346	310
その他	26	33
無形固定資産合計	372	343
投資その他の資産		
投資有価証券	561	538
繰延税金資産	112	160
退職給付に係る資産	26	55
その他	1,295	1,285
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	1,972	2,017
固定資産合計	8,946	8,924
資産合計	24,904	23,625

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,091	5,740
短期借入金	1,074	1,674
未払法人税等	272	38
賞与引当金	381	144
役員賞与引当金	17	4
その他	1,003	1,259
流動負債合計	9,840	8,862
固定負債		
長期借入金	12	10
繰延税金負債	3	5
退職給付に係る負債	39	40
その他	316	324
固定負債合計	371	381
負債合計	10,212	9,243
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,760	1,760
資本剰余金	1,168	1,168
利益剰余金	11,828	11,523
自己株式	△291	△291
株主資本合計	14,465	14,160
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	200	195
退職給付に係る調整累計額	26	25
その他の包括利益累計額合計	226	221
純資産合計	14,692	14,381
負債純資産合計	24,904	23,625

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	4,779	4,814
売上原価	3,532	3,478
売上総利益	1,247	1,335
販売費及び一般管理費	1,573	1,502
営業損失(△)	△326	△166
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	8	9
受取賃貸料	27	33
売電収入	11	12
その他	12	6
営業外収益合計	60	62
営業外費用		
支払利息	0	1
不動産賃貸費用	9	15
売電費用	6	5
その他	1	0
営業外費用合計	17	22
経常損失(△)	△283	△126
特別損失		
固定資産除却損	1	0
投資有価証券評価損	-	15
特別損失合計	1	16
税金等調整前四半期純損失(△)	△285	△142
法人税等	6	9
四半期純損失(△)	△292	△152
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△292	△152



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△292	△152
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	△4
退職給付に係る調整額	7	△0
その他の包括利益合計	21	△5
四半期包括利益	△270	△157
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△270	△157
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて記載しております。